

2020年 第52回日経青洋上研修担当講師(予定)

人材育成学会理事 **桐村晋次氏**

(元 法政大学大学院経営学研究科教授)



東京大学法学部卒 筑波大学大学院(夜間)カウンセリング専攻修了。古河電気工業(株)人事部長、常務取締役、古河物流(株)社長を経て、古河電気工業(株)顧問。一方、豊富な職業経験を基に、わが国のキャリアカウンセリングの第一人者として、神奈川大学経営学部教授、法政大学キャリアデザイン学部教授、同大学大学院経営学研究科教授、日本産業カウンセリング学会会長、中央教育審議会、大学設置・学校法人審議会委員(文部科学省)、経済審議会特別委員(内閣府)、日本経団連教育問題委員会委員、厚生労働省キャリアコンサルタント登録制度等に関する検討会(座長)、等を歴任。また、第1回日経青洋上研修の運営委員長(1972年2月)としても参加する。現在、人材育成学会理事、日本産業カウンセリング学会特別顧問、キャリアコンサルティング協議会顧問を務める。

著書に「人材育成の進め方」「人事マン入門」日経文庫、「吉田松陰 松下村塾人の育て方」あさ出版等多数。

クリエイティブマネジメント研究所・代表

福田 徹氏



東京大学法学部卒業後、新日本製鐵(株)・現 日本製鐵(株)に入社。総務、物流管理、新事業開発などの部門で管理職やプロジェクトリーダーを歴任。物流管理部門ではメンバーへの実践型の改善手法教育によって職場ぐるみの業務改善・効率化を推進し、確かな成果を実現する。その後独立し、主に管理・監督職や中堅リーダーを対象とする経営戦略、マネジメント、コーチング、問題解決他各種教育・研修の講師活動を展開してきた。今日まで製造、物流、IT業等を中心に、企業や公的団体で社・職員研修を実践。また、長年にわたり東京商工会議所、関東・北陸地域の各経営者協会、千葉県職業能力開発協会等で公開研修を担当する。

著書に「伸びる男は上司の動かし方がうまい」かんき出版、「新しい自分のつくり方(自己啓発のポイント33)」日経連出版、「職場のコミュニケーション」日本経団連・社内広報情報源(連載)、「人を育てるコーチング」信州自治研究会(連載)他多数。

元 時事通信社 ロサンゼルス支局長

佐藤 成文氏



早稲田大学政治経済学科業後、時事通信社入社。本社編集局外信部配属、その後海外勤務と外信部を繰り返す。海外勤務地はサイゴン(現ホーチミン市)、カイロ、バイルート、ワシントンの後、ニューヨーク、ワシントン、ロサンゼルス各支局長を歴任。退社後はロサンゼルスに在住し、現地フリージャーナリストとして活躍、現在に至る。

(日本では近年教育現場を中心に「国際教養」ブームのようですが、目指す国際教養人のイメージとなると「はてな?」という向きが多いのではないのでしょうか。半世紀のジャーナリスト生活のうち30年以上を海外で過ごした経験から、「国際教養(人)とは何か」具体例を取り上げて、ビジネスの第一線で活躍している皆さんに参考となるようなお話をしたいと思います)

国立全米日系人博物館(JAPANESE AMERICAN NATIONAL MUSEUM)



Ms Tami Hirai

戦前、移民として渡米した日系アメリカ人は、第二次世界大戦時中、敵国であるとの理由から、アメリカ国民・アメリカ国籍があるにもかかわらず、強制収容所へ移住させられます。その強制収容所での生活ですが、規律の取れた生活・モラルの高さなど、日系人に対するイメージが徐々に評価され始めます。そんな中、日系アメリカ人で編成された、第442連隊がドイツ国内で最も困難とされたアメリカテキサス大隊を救出した成果など、アメリカ国民から高く称賛されます。

戦後、Made in Japan がアメリカ全土に行き亘ったのも、これらの歴史に照らし、日本人が作ったものは間違いないとの評判から、今日に至っております。

9・11同時テロの時、ブッシュ政権で当時運輸長官だった日系2世の故ノーマン・ミネタ氏は、アメリカの世論がイスラム関連民族の排斥運動が高まる中で、最後まで隔離法案に反対し、同法案を廃案に結びつけた人物です。自身の過去の強制隔離生活の二の舞は何としても避けねばならないことへの必死の願いでした。

「歴史に無知なものは、将来に対しても無知である」我々日本人は、結果だけではなく、そこに至る過程・過去を数多く知るべきとの考えから訪問致します。

ロサンゼルス・タイムズ社(Los Angeles Times)



Mr Darrell Kunitomi

1881年12月4日に創刊。アメリカの地方紙としては、ニューヨーク・タイムズに次ぐ規模で、新聞等の印刷報道に与えられるアメリカで最も権威のあるピューリッツァー賞の受賞もニューヨーク・タイムズについて第二位です。

創刊以来、「新しい情報を伝え、報道の自由を守ること」を心がけ、常に世の中を動かす大きな影響力を持っていることを自覚しながら歩んで来た、同社の企業理念・経営哲学からは多くのものが学べます。

ワンポイント英会話



柴田 潔子 氏

国際化への第一歩は、現地の方とのスモールトークからです。

講師は、海外添乗歴延べ600回を経験している、ベテラン柴田潔子氏を講師に迎え、中学生レベルで十分通用するワンポイント英会話を学び、実践に役立てて頂きます。